

1. 背景と目的

- 保育士養成課程の多くが幼稚園教諭養成課程を併設し、文部科学省が定める幼児教育の5領域を前提に各領域に関連する専門家が教員となるが、必ずしも教員に保育に関する知見は問われていないことから、科目間の整合性や教員が一丸となって教育改善に臨む上での課題がある。
 - 近年の社会変化に伴い、保育・幼児教育分野の現場において対応を迫られる課題も多様化しており、こうした問題に適切に対応できるよう保育士資格の高度化の必要性も議論されている（大津2019、矢藤2022）。
- ↓
- 保育・幼児教育分野の教員が抱える課題を明らかにし、その課題解決を目指すFDを企画立案するプログラム開発を目指す。
 - FD担当者と保育・幼児教育分野の担当者が連携してFDプログラムの開発に臨むことで、人的ネットワークの構築・拡大と保育士養成課程における教育の質保証の取組充実を目指す。

<参考文献>

- ◆ 大津泰子 (2019) 「保育士の専門性と社会的地位に関する一考察」 『近畿大学九州短期大学研究紀要』 (49), 20-36.
- ◆ 矢藤誠慈郎 (2022) 「保育士養成の現状と課題」 『日本家政学会誌』 Vol. 73, No. 5, 279-284.

2. 取組と成果、今後の計画

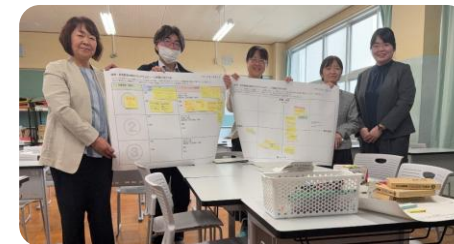
① ワークショップ試行会の開催

今治明德短期大学にて企画者2名、有志3名でSP0Dフォーラム2025で開講予定のプログラム体験、意見交換会を実施。プログラム改善に取り組んだ。



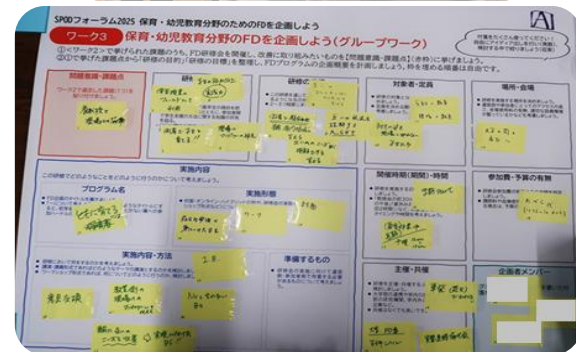
② SP0Dフォーラム2025「保育・幼児教育分野のためのFDを企画しよう」企画・実施

2025年8月27-29日に徳島大学で開催されたSP0Dフォーラム2025において「保育・幼児教育分野のためのFDを企画しよう」を企画・実施。SP0D内外から12名の参加があり、3チームが各々のニーズに合わせたFDプログラムを企画立案した。



③ プロジェクトの実践報告(2件)

SP0Dフォーラム2025ポスター発表の場で取組①について試行会参加者連名で発表を行った。『大学教育研究ジャーナル』では取組①・②について振り返る実践報告論文を投稿（査読有、掲載予定）。



取組①で立案されたFDプログラムの開催

取組①のWS試行会で企画立案されたFDプログラムについて今治明德短期大学、徳島文理大学短期大学部合同で開催に向けた打合せを実施中。令和8年度夏季休業中の開催を目標に各方面の調整とプログラム内容の検討を進める。実施後は実践報告として取りまとめ予定。

